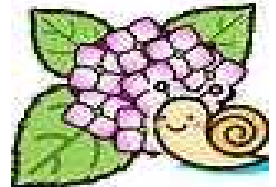


でんでんむし



10月になりました。



涼しい秋風に、高く澄んだ空。大きく深呼吸したくなるような、気持ちの良い季節となりました。ただ、日中と朝夕の寒暖の差はかなりありますので、子どもの体調管理には気をつけてください。さて、秋は〇〇の秋…ともいわれます。スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋、勉学の秋、行楽の秋など、いろんな秋があります。お子様と一緒に本を読むのもいいし、公園・遊園地や行楽地へお出かけするのもいいですね。この過ごしやすい季節をお子様と一緒に楽しんでください。

～子育てワンポイントアドバイス～「読み聞かせと語り ～おはなし、だいすき～」

「さあ読んで聞かせるよ。」と絵本の表紙を開く時、「朗読なんてしたことがないし・・・」なんて恥ずかしがることはありません。観客はあなた自身の子どもなんです。「むかーし、むかし・・・」と昔話を語ってくれたおばあさんも、



特に語り方が上手だったわけではありません。でも、子どもたちは、胸をときめかせて聞き、一生その昔話を忘れませんでした。覚えていたのは、物語そのものよりも、語り手の声と表情と、伝わってくる語り手の気持ちでした。子どもにその気持ちをたっぷりこめて、自分の思いを伝えましょう。語りましょう。

～ 子育て支援センター「でんでんむし」の9月のイベントから ～

13日(木) 子育て講座「第2回赤ちゃん広場」

テーマ:「食育を通した子どもとの絆づくり」

講師:佐賀女子短期大学 小島菜実絵先生

イベントでは、最初、食育についての事例紹介の後、『噛むこと』の大切さについてお話しされ、次に、実際に『噛み方、歯の使い方』について体感し、最後に小島先生のレシピで職員が作った“噛まなきゃあ食べられないクッキー”の試食でした。噛むことは



“脳の活性化”、“虫歯予防”につながるということが実感できた時間でした。



[この取組は、ファミリーサポートセンター、利用者支援事業との共催事業です。]



6日(木)「子育てイベント」

佐賀女子短期大学の小島菜実絵先生を講師として、「とりわけ手間なし離乳食」という内容で、食育イベントを開催しました。参加者からは、「家では思いつかないことも教えていただき勉強になった」「大人のメニューからうまく作れるようにがんばりた

い。」「取り分けをしたことがなかったのが実際にとるところを見られて勉強になった。」など、かなり好評でした。

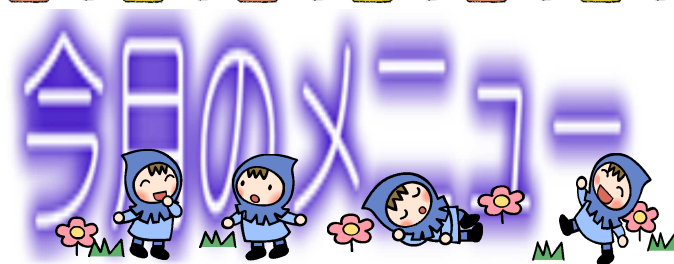


20日(水)「赤ちゃん登校日(中央校)」

9月20日(水)に多久市立義務教育学校東原庁舎中央校の9年1組の生徒さん(16名)と赤ちゃんも一緒に登校を行いました。雨の中参加してくれた16組の皆さまありがとうございました！



[この取組は、ファミリーサポートセンター(にじいろ)、利用者支援事業(パラソル)との共催事業です。]



4日 10:30～「ママカフェ」

12日 10:30～「赤ちゃん登校日」(東原庁舎東部校)

※ファミリーサポートセンター(にじいろ)、利用者支援事業(パラソル)と共催

16日 14:30～「食育相談会」

・講師:佐賀女子短期大学 専任講師 小島菜実絵先生

18日 10:30～「子育て講話」

・講師:佐賀女子短期大学 准教授 白濱洋子先生

23日 10:30～「お誕生日おめでとう」

26日 12:30～「赤ちゃん登校日」(東原庁舎西浜校)

※ファミリーサポートセンター(にじいろ)、利用者支援事業(パラソル)と共催

※全ての講座、イベントで託児あります。

☆連絡先:多久市児童センター内「子育て支援センター」☆

[Tel 0952-37-1117](みんな・いっしょに・いっいな)